

3. 「東京の橋 パネル展」開催報告

Report of the Tokyo's bridges panel exhibition

技術支援課 菅井 太

1. はじめに

土木技術支援・人材育成センターでは、土木学会や地盤工学会、首都大学東京等との連携を図り、学会や大学で有する最新の技術的知見と現場を持つ東京都が有する専門的な技術情報を相互に共有することにより、技術力の向上に努めている。

現在、土木学会土木の日実行委員会が毎年土木の日に新宿西口で開催する「土木コレクション」の運営に当センターが参画し、一般市民に土木を知ってもらう取組みを実施している。さらに、都建設局が管理する橋について知ってもらう目的で、平成24年度と25年度に「東京の橋パネル展」を企画し同時開催した。

本稿では、土木コレクションについて紹介し、平成24年度と25年度に実施した「東京の橋パネル展」について報告する。

2. 土木コレクション

土木コレクションは、11月18日の「土木の日」にちなみ、「土木コレクション」として、土木界が保有する歴史資料、図面、写真など普段目にすることができない各種コレクションを公開、展示する

「HANDS 土木エンジニアドローイング展」と最近話題になった新しいコンセプトのプロジェクトについて展示する「EYES 土木エンジニアヌーヴォー展」を合わせて開催するもので、土木の魅力、土木の範囲の広さや奥深さを一般市民の皆さまに実感していただき、日本の将来を支える社会基盤に関して共通の夢を持てることを目指すものである。

平成20年11月にはじめて開催されて以来、これまでに計6回開催され、平成26年度からは、土木学会100

周年記念行事として、全国12か所にて全国巡回展を開催予定である。

3. 「東京の橋パネル展」展示概要

「東京の橋パネル展」は、土木の魅力を伝えるという土木コレクションの企画目的に賛同し、都建設局が管理する橋について、主に隅田川に架かる橋を題材にしてアーカイブ資料を展示し、広く都民の方々に見ていただくことを目的とした。

平成24年度は、11月21日（水）から24日（土）までの4日間、新宿駅西口広場で開催した。

都建設局では多くの古い橋を管理しており、中には歴史的・文化的価値の高い橋も多数あることから、橋の魅力、歴史的・文化的価値の高い橋、地震への備えなどについて、パネルを使ってわかりやすく紹介した。

また、東京大学工学部中井教授の御助力を頂き、同大学所蔵の「永代橋」（写真1）並びに「蔵前橋」（写真2）の模型を特別にお借りし展示した。この模型は、架橋当時に作成されたものと思われ、本物と



写真1 永代橋模型（東京大学所蔵）



写真2 蔵前橋模型（東京大学所蔵）

思わせるような迫力と芸術的な趣もあるもので、ご来場された多くの方が感慨深げにご覧になっていた。開催期間中は約8千人もの多くのお客様がご来場された。

平成25年度は、11月21日（木）から24日（日）までの4日間、前回同様新宿駅西口広場で開催した。

東京の橋の魅力を伝えるパネル展示に加え、土木学会より寄贈された勝鬨橋建設当時の貴重な映像を基に、「勝鬨橋の建設までの経緯」、「工事状況」、「開閉の仕組み」などをわかりやすく解説を付け加えた映像（写真3）を上映した。戦前の映像であったが、橋げたが約70度まで開く様子をはっきりと収められており、歴史的価値が非常に高い映像である。

なお開催当日は新聞に報道されたこともあり、多くの方がご視聴になられた。



写真3 勝鬨橋映像上映の様子

さらに、勝鬨橋の構造・魅力をより一層深めていただくため、からどき橋の資料館に展示されている音声で勝鬨橋を紹介をする模型（写真4,5）を出張展



写真4 勝鬨橋模型 全体図

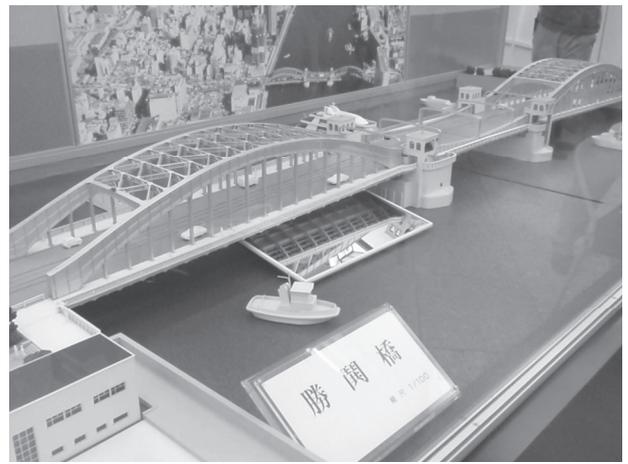


写真5 勝鬨橋模型

示した。

また、橋脚内にある開閉していた当時のままの機械設備を説明者と一緒に見学できるツアーの案内も併せて行った。

ご来場された多くの方からは、勝鬨橋の開閉に関する質問が多く聞かれ、関心の高さが窺われた。

また、開閉していた当時を知る方々からは懐かしむ声も聞かれた。開催期間中、約1万3千人の方がご来場になり、大盛況の内に終了した。

4. 平成26年度「東京の橋パネル展」について

平成26年度は11月19日から22日の4日間、新宿西口広場で「土木コレクション」と同時開催予定である。

今年度は「復興」をテーマに展示を考えている。

現在、隅田川に架橋されている多くは、関東大震災の復興の際、建設されている。当センターでは、復興にかける当時の技術者の思いを少しでも多くの方々を感じてもらうため、当センターが保管する当時の設計図面などを展示し、また、昨年好評であった映像についても、上映の検討を進めている。